

第 30 回日本看護管理学会インフォメーションエクスチェンジ 84

「ケアのやりがいを通じた看護師のメンタルヘルスの保持・増進への専門看護師の貢献」のアンケート結果

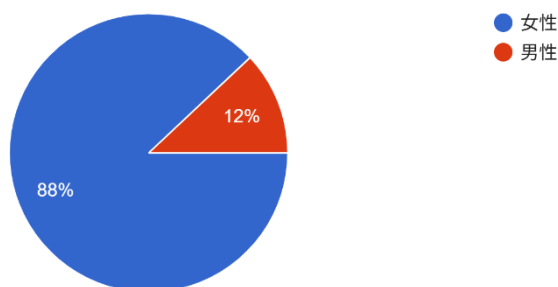
文責 九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会 看護管理担当代議員会

80 名以上の方に熱心にご参加いただきました。またアンケートには 25 名の方がご協力くださいました。この場を借りて心より御礼申し上げます。

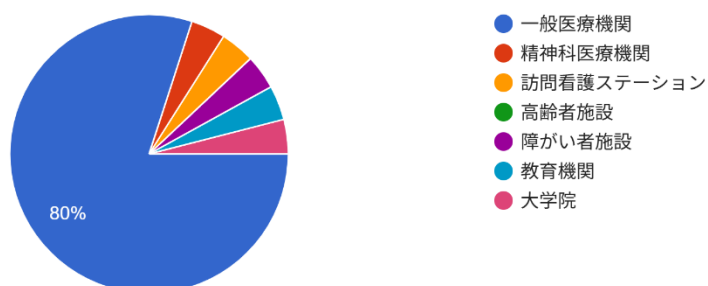
1. 年齢(n=24)

平均 48.5 歳

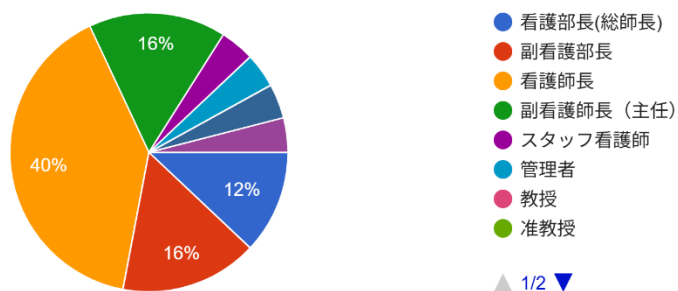
2. 性別(n=25)



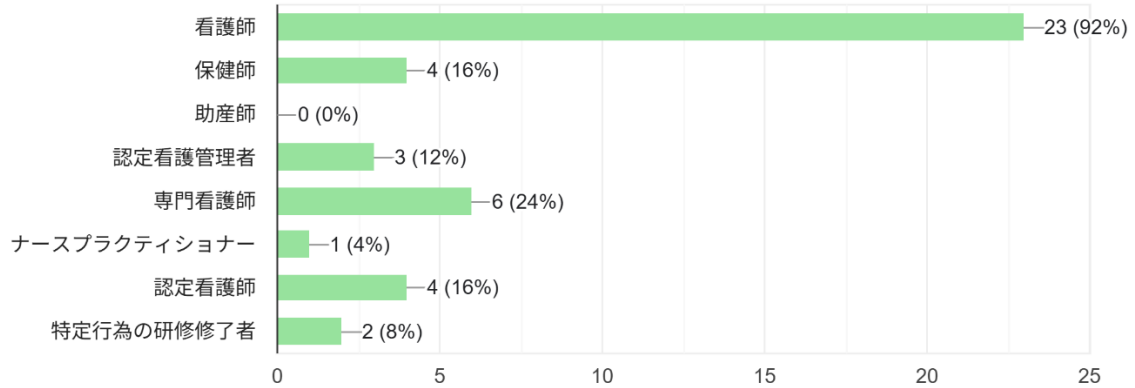
3. 所属施設 (n=25)



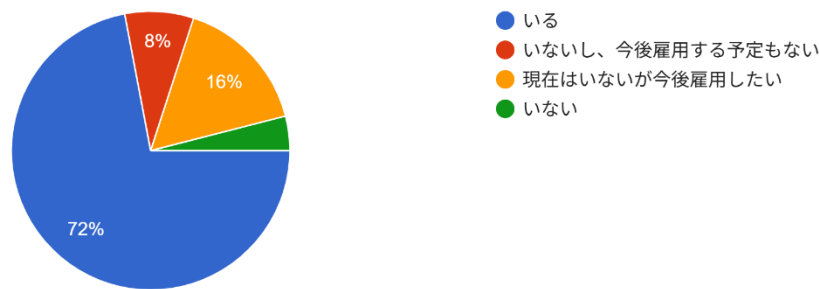
4. 主たる職位 (n=25)



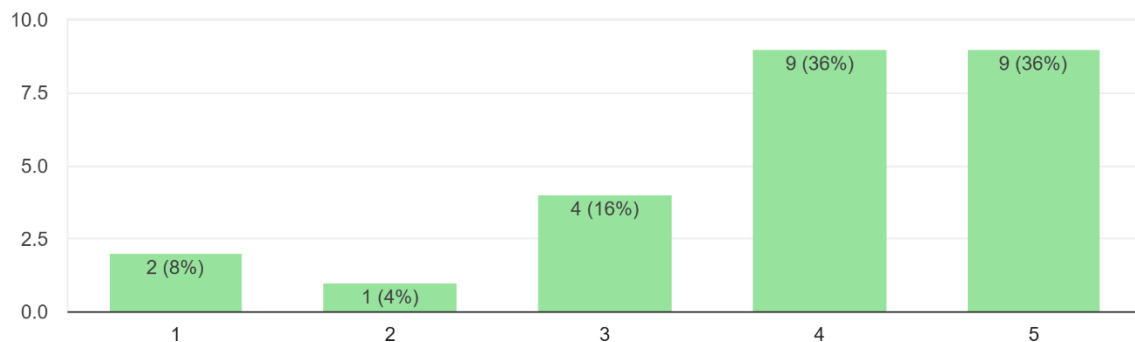
5. 保有資格（複数回答）



6. 所属施設の専門看護師の存在（n=25）



7. 満足度（n=25）



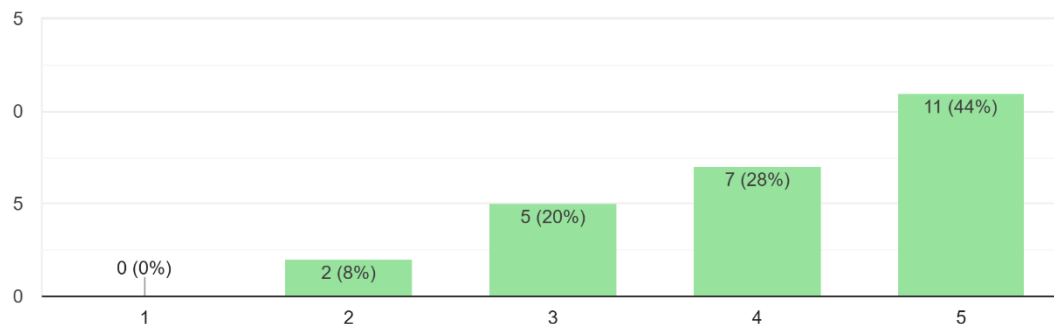
8. 前の質問で数字を選択した理由（任意、n=11）

- ・ いろんな領域（特に精神看護 CNS 以外）の CNS が 6 つの役割を生かして、看護職のメンタルヘルスサポートに寄与できるという実践が聞けると思っていたため、もう少しいろんな領域の CNS の方の実践を聞きたかった。
- ・ リエゾンナースの役割を改めて学ぶことができたため
- ・ 精神看護専門看護師がいる
- ・ 組織横断的な活動をしている
- ・ 特に新人看護師への関わりは成長から離脱しない関わりを行なってくれている
- ・ 失礼ながら心理士によるメンタルヘルスをしているのでどんな違いがあるかと

思っていたが、期待外れに素晴らしい会であったため。

- ・やはり看護師がメンタルケアをすることの意味の大きさと、管理者である自分にとってはさまざまなことに対応しながらの一部なので、ここまで手厚い対応ができておらず、自分のできなさ具合に落ち込んでいます。
- ・専門看護師さんがいたら辞めなくてもよかったスタッフもいるかと思うとより責任の重さとやることの多さを感じる。
- ・CNSとして、活躍できず、悩みも多いですが、話をきいて、明日から活動できることを考えることができました。
- ・悩んでいることの内容を知れた
- ・どんな対応をしているのか具体的に知れた
- ・専門看護師の価値をどのように評価し管理者がリソースとして活用できるのかヒントをもらえた。組織へのアプローチを強みに、院内での活用に取り組みたい。
- ・どうやってケアのやりがいをどう感じられるようにするか、というところはマイナスを潰していくだけで良いのかは悩ましいと思いました。
- ・専門看護師の役割がわかった。メンタル面も、考える機会になった。
- ・部署所属のため、活動時間の制約がある。必要場面で夜勤など活用できないことが多い。
- ・スタッフに対する貢献は感じたことはないが、多忙な中多くのことをこなしている

9. 仕事への活用可能性 (n=25)



10. 前の質問で数字を選択した理由 (任意、n=11)

- ・いろんな領域（特に精神看護 CNS 以外）の CNS が6つの役割を生かして、看護職のメンタルヘルスサポートに寄与できるという実践が聞けると思っていたため、もう少しいろんな領域の CNS の方の実践を聞きたかった。
- ・自分自身も CNS として、6つの役割を活用して職員のメンタルヘルスをサポートできるといいと思っているが、その実践をスーパーバイズできる枠組みなどがあるとありがたいです。
- ・教授に物申せない。
- ・当院にはリエゾンナースはいません。それもあり、新人看護師に対して、心理

的安全性の保たれた環境提示の一つとして、看護管理室スタッフが定期的に面談をして、心理的・身体的負担の有無や態度をすくいあげる体制をとっているが、その際にどのように掬い上げるべきなのか、緊急性があるケースの対応について、専門的な視点の学びを得ることができた、非常に貴重な機会だったため。

- ・明日から、たくさんのスタッフとお話しをしようと思います。
- ・途中から参加しましたが、とても興味がある内容でした
- ・管理者として、専門看護師の有用性や看護への貢献をトップに何を働きかけるのか、どんな期待があるのか言語化できると思った。
- ・活動していると思いますが、仕事の内容を理解していない。
- ・精神の専門看護師がいなかったため、メンタルヘルスは副看護部長や師長が行っており、自身の経験や知識のみで支援している不安な状況である。
- ・休職したスタッフに対する対応などを学びたいと思っていたが、どこから情報を取ればいいのか分からなかったがその道標をいただきました。

13. ご意見やご感想 (n=12)

- ・CNSの先生方がどのようにメンタルヘルスを整えているのか興味を持ちました
- ・今回の講義を聴講し、師長への教育が必要と考えた。専門看護師を頼りすぎている。看護師が気持ちを固めた状況で依頼しており、その前からの何らかの変化を管理者はキャッチしなければならない。固めてからの専門看護師では遅い。管理者との協働としてあげるなら、これである
- ・素晴らしかったです。まだまだお聞きしたかったです。
- ・オンライン研修の話がディスカッションで出たので、ぜひ、さまざまな専門ナースと管理者の連携をシリーズやってほしいです。
- ・管理者に、CNSの活用を理解してもらう活動を続けていただきたいです。
- ・リエゾンナースの必要を感じたが、管理者として共通のこともあったので、アセスメントをして相談していきたい
- ・北海道看護協会は研修をしてくれますか？
- ・とても有意義なお話でした。ありがとうございました。
- ・自施設の専門看護師と一緒に、CNSの活用拡大について議論できると感じました。現状に満足せず、組織貢献という視点で教育以外の活用価値を自ら見出すことが重要だと感じています
- ・活動をすることができて、よかった。
- ・佐賀医大の近くの出身だったので、倉持さんがいらっしゃる佐賀医大で働いている同級生が羨ましく思いました。
- ・産業医との連携はどうしたらいいか教えていただきたいです

九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会からのフィードバック

当協議会では高度実践看護師（専門看護師、診療看護師、日本看護系大学認定ナースプラクティショナー）の活動や活用についてのご相談を承っています。ま

た、ご希望の団体や施設があれば、メンタルヘルスに限らず各種の研修も引き受けています。次の窓口からお気軽にご相談ください。

❀ ご入会の案内

入会されると各種の研修や事例検討会に無料でご参加いただけます。施設会員は15名まで無料でご参加いただけます。

また、オンラインや電話でのコンサルテーションやスーパービジョンを無償で受けることができます。

年会費

正会員（九州・沖縄地域の方）3,000 円

賛助会員（九州・沖縄以外の地域の方）2,000 円

施設会員 30,000 円